

# の 広報 ほりぼつ

6/1

1996

No.548



5月14日(火)、登別市文化・スポーツ振興財団主催の少年水泳教室が、市民プールで行われました。

参加した47名は、小学校1～2年生。「泣く子は大好き」というコーチの優しさに包まれながら、水泳の楽しさ、怖さを学びました。

## 主な内容

- ・ごみの分別とリサイクル
- ・市内ボランティアグループ・団体の紹介
- ・平成8年春の叙勲・褒章受章者紹介
- ・きらり 第42回写真道展大賞受賞 佐藤 明さん

ごみを出すときは

# 分別を徹底しましょう！減量化をしましょう！リサイクルを心がけましょう！

ごみ・リサイクルに関する問い合わせ 環境衛生課 (☎2958)

## 6月は環境月間

### 6月5日は環境の日

ごみの減量と再利用を  
すすめるために：

## 地球のルール リサイクル

わたしたちが、毎日出すごみの中には、資源として使えるものがたくさんあります。これらの資源をごみとして捨てないでください。



### 登別方式 資源リサイクルシステム

登別市ではごみの減量と再利用のために「登別方式資源リサイクルシステム」が行われています。この方式では、回収資源を第1種と第2種に分けて回収しています。※第2種回収資源のドラムカンの中に、生ごみや犬のふんなどが入れられ、回収作業に支障をきたしています。また、資源として活用できなくなる場合がありますので、出し方のルールを絶対に守りましょう。

#### ◎第1種回収資源



新聞紙・雑誌・段ボール・生ゴミ・衣類・牛乳パックなどで、従来どおり町内会が実施している方法で資源回収業者が回収しています。

#### ◎第2種回収資源

種類	回収日	出し方
雑ビン	毎月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビンの中を軽く洗ってから無色透明・茶色・その他の色の3種類に分けて出してください</li> <li>○口金を取って出してください</li> <li>○ビンの中に物を入れないでください</li> <li>○黒色のビン・窓ガラス・耐熱ガラス・陶器は出さないでください</li> </ul>
あき缶	毎月 1 日・15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○缶の中に物を入れないでください</li> <li>○缶は中を軽く洗ってから出してください</li> <li>○スプレー缶は危険なので穴をあけてから出してください</li> <li>○アルミ缶とスチール缶の区別は不要です</li> <li>○缶は圧縮しないでください</li> </ul>
金属類	毎月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷蔵庫・洗濯機・テレビ・掃除機などの家電製品は金属類がほとんどないので出さないでください</li> <li>○自転車はタイヤを外して出してください</li> <li>○金属類はあき缶・雑ビンポストの横に出してください</li> </ul>

※第2種回収資源の回収日は、町内会で決めた集積場所に設置してあるあき缶・雑ビンポスト(ドラムカン)からリサイクル協会が回収する日です。第2種回収資源の実施している町内会は56町内会です。



### 春の登別クリーン作戦が行われました



5月19日(日)、環境月間を前に市内全域で、春の登別クリーン作戦が行われました。自分たちの住む町を自分たちの手できれいにしようと、町内会ごとに、道路わきのごみや、冬のあいだにたまったほりなどを一掃しました。

ごみの正しい分け方と出し方  
分別できていているかな？

ごみを出すときは、分別の徹底  
とリサイクルに心がけましょう！

◎燃やせるごみ

料理くず・木くず・紙くずなど



出し方

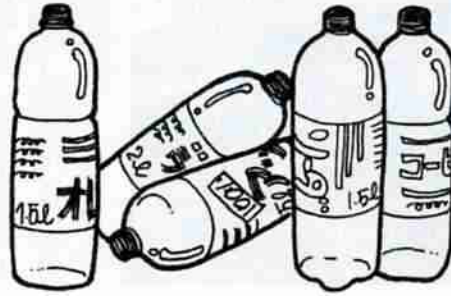
○台所から出るごみは、よく水を  
切って出してください

○木くず類は長さ50cm、重さ10kg  
程度にして出してください

※料理くずなどの生ごみは、なる  
べくたい肥化して花や家庭菜園に  
使いましょう。

◎燃やせないごみ

ペットボトル・スプレー缶・紙お  
むつ・革製品・ゴム製品・ガラス  
・陶器・発泡スチロール・ビニー  
ル・小型電気製品・布団や衣類・  
プラスチック製品など



出し方

○ペットボトルなどの容器類は中  
を軽く洗ってから出してください

○刃物や割れた陶器・ガラス類は  
きちんとこん包して出してくだ  
さい

○じゅうたんなどは収集車に積め  
る大きさに切るか、たたんで、  
分解できるものはバラにして束  
ねて出してください

○乾電池・水銀体温計は透明な袋  
に入れ、他のごみと区別し、燃  
やせないごみの日に出してくだ  
さい

◎排出禁止物

ごみステーションに出しても収  
集できないごみ

オートバイ・スクー  
ター・車・ピアノ  
・劇物や農薬など  
の容器・プロパン  
ガス・バッテリー  
・ホームタンク・  
タイヤ・ドラムカ  
ン・冷蔵庫・消火  
器・廃油など

○有害性 感染性  
危険性、引火性のあるもの



「登別市推奨半透明ごみ袋」でごみを出しましょう

半透明ごみ袋は、ごみの分別、減量化、リサイクルの推進および  
収集作業員の労働災害防止を目的に、現在次の34店舗で販売してい  
ます。

趣旨をご理解のうえ、この半透明ごみ袋の使用にご協力ください。

ショッピングセンターはまだ	中島薬局
小林商店	登別サティ
モンマートかつま	ホームストア 幌別店
スーパー日栄	ホームストア 登別中央店
登別サンカドー	ホームストア 高砂店
プラザさいとう 登別店	室蘭生活協同組合 新生ストア
井上商店	室蘭生活協同組合 旭ヶ丘ストア
登別市農業協同組合	室蘭生活協同組合 高砂ストア
プラザファイブ アーニス店	室蘭生活協同組合 東雲ストア
シンワ 丸十藤食品	室蘭工業大学生活協同組合
山岸商店	新和総合食品 新和デパート内
ユアーズうえだ	ホームマック(石黒ホーム)若草店
プラザファイブ 桜木店	志賀総合食料品店 イースト店
津村商店	志賀総合食料品店 若草店
ファーストキッチンのせ	登別市母子寡婦の会(市役所母子会売店)
ホリタドラッグ	河辺商店 本店
ます蔵藤田商店	河辺商店 支店

許可業者

登別クリーンサービス(株)  
(011-870-0870)  
三協資源(株) (011-968-9681)  
(有)登和清掃 (011-020-0200)  
小林興業(有) (011-222-1222)

自然が泣いています

ごみの不法投棄が  
あとを絶ちません！



山菜採りやレジャーなどの本格  
的な行楽時期を迎え、市内の野山  
でも多くの市民が自然を楽しんで  
います。

ところが、野山に入るとあちこ  
ちに空き缶やビニール袋などのご  
みが捨てられているのが目につ  
きます。なかには、廃タイヤや布団  
などが捨てられていることもあり、  
一部の心ない人のために大切な自  
然が汚されています。

市は、ごみの不法投棄について  
調査し、悪質なものについては警  
察に通報しています。野山や環境  
を破壊する不法投棄は法律で厳し  
く罰せられます。

豊かな自然はみんなの財産です。  
野山へ入るときはマナーを守り、  
ごみは必ず持ち帰りましょう。  
また、市の清掃工場・最終処分  
場は、土・日曜日、祝日も開設し  
ていますので正しいごみ処理に努  
めましょう。

# ・団体を紹介します



▲中・高生ワークキャンプでの車イス体験

市内にはさまざまなボランティアグループや団体があり、それぞれが、自分たちに合ったボランティア活動を行っています。今回は、登別市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録している団体を紹介します。

みなさんも自分に合ったボランティア活動を始めませんか。

各ボランティアグループ・団体では、会員を募集しています。詳しくは、各団体の代表者または、社会福祉協議会ボランティアセンターへ問い合わせください。

また、社会福祉協議会ボランティアセンターでは、ボランティア登録をするグループ・団体を募集しています。趣味などをボランティア活動に生かしたいと考えているグループや団体がありましたら、気軽に相談ください。

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター  
 (☎0860)

グループ・団体名	代表者	連絡先	会員数	主な活動内容
登別市ボランティアの会	井上ハルヨさん	若草町6-8-6 ☎086825	38名	友愛セール開催 布の絵本・玩具製作・配布 視力障害者協会への行事協力・介助 社協行事協力・参加 赤い羽根共同募金街頭募金協力など
美園地区 婦人ボランティアの会	高野恵子さん	美園町6-5-5 ☎088400	16名	地域の独居老人宅への訪問活動 福祉施設行事参加・協力 古浴衣を利用した清布づくり 赤い羽根共同募金街頭募金協力など
在宅福祉ボランティア とわの会	砂田チエノさん	柏木町2-11-3 ☎085928	23名	老人・障害者デイ・サービス事業運営協力 (利用者との交流・障害者の介助) 在宅介護者との交流会 介護技術研修・先進地視察研修など
登別手話の会	浜田一夫さん	幌別町2-3-4 ☎080131	28名	手話技術向上の研修会 手話講習会の開催 各種行事での手話通訳 ろうあ運動への啓もう活動など
登別 朗読ボランティアの会	川仁菊子さん	中登別町83 ☎082878	11名	点字図書室運営協力 視力障害者への朗読協力 録音図書の作成 視力障害者協会行事協力など
登別市 点訳赤十字奉仕団	伊達豊子さん	中央町2-6-2 ☎082159	39名	点字図書室運営協力 視力障害者への点訳協力 点字講習会の開催 視力障害者協会行事協力など
登別地区 更生保護婦人会	高沢泰子さん	新川町2-37-6 ☎086671	42名	犯罪非行防止・更生援助 社協各種行事協力 福祉教育活動協力など
登別市老人クラブ連合会 女性部	宮城キエさん	登別東町2-22 ☎081075	20名	老人福祉施設訪問活動 友愛電話サービス 共同募金運動協力など

あなたも参加しませんか

# 登別市内のボランティアグループ



▲ふれあい広場'95のほりべつでのガイドヘルプ体験コーナー



▲市民ボランティア講座での点訳実習

グループ・団体名	代表者	連絡先	会員数	主な活動内容
めんどりの会	門山きぬさん	新生町1-10-7 ☎☎6160	14名	養護老人ホーム恵寿園への訪問活動 各種ボランティア行事への参加協力 婦人短大・生涯学習活動への協力 家庭教育学級の際の託児など
登別ブラインドボランティアの会	泉芳子さん	登別東町1-10-20 ☎☎1663	8名	視力障害者協会の各種事業支援 視力協会会員へのガイドヘルプ活動 社協・各種ボランティア行事への協力など
登別駅 しあわせの会	宮城キエさん	登別東町2-22 ☎☎1075	100名	特別養護老人ホーム緑風園への訪問活動 各種ボランティア行事への参加・協力など
ボーイスカウト 登別第一団	菅野正一さん	中央町2-1-2 ☎☎4913	72名	青少年の育成 各種共同募金の街頭募金協力 各種ボランティア行事への参加協力など
日赤奉仕団片倉分団	吹越愛子さん	片倉町3-28 ☎☎2724	70名	老人クラブとの交流会 鉾山研修センターの清掃奉仕活動 地域・公共施設の清掃奉仕活動など
登別市ユーモア芝オケ フェニックス	千葉あさよさん	幌別町6-28 ☎☎5969	7名	老人福祉施設への芸能訪問・交流活動など
国際ソロプチミスト登別	和田美智子さん	登別本町3-12-1 ☎☎1546	17名	各種チャリティ行事開催による寄付金贈呈 各種ボランティア行事への参加協力など
登別ライフケアを 考える会	星川光子さん	新川町4-9-1 ☎☎2626	102名	会員相互の助け合いをもとに、地域でその人らしく暮らすための、助け合い事業など
中・高生ボランティア サークル「茶ばしら」	堀切夢香さん	社会福祉協議会 ボランティアセンター ☎☎0860	20名	車イスのガイドマップづくり デイサービスセンターへの行事協力・利用者との交流 すずかけ作業所への事業協力 各種ボランティア体験活動など

# おめでとうございます

平成8年春の叙勲、褒章で、市内にお住まいの次の方が受章されましたので紹介します。

## 春の叙勲

30年間刑事部門を歩む



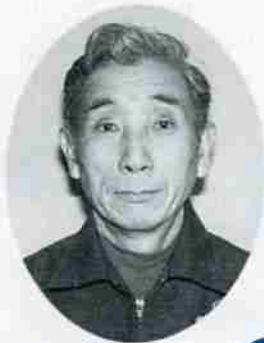
●勲五等瑞宝章

小野 哲広 さん  
おの の てつひろ

新生町 (73歳)

昭和19年北海道庁巡查、27年巡查部長、37年警部補、42年警部、49年警視と、警察官人生35年のうち30年間を刑事畑で過ごされ、日夜、住民の生命と財産を守るため奔走されました。

豪雨災害、不眠不休で救助活動に尽力



●勲六等瑞宝章

丸子 八郎 さん  
まる こ はちろう

常盤町 (61歳)

昭和29年に自衛隊前身の保安隊入り。昭和63年3月定年退官までの34年間、陸上自衛隊幌別駐屯地施設部隊勤務一筋で過ごされ、4回の災害派遣を経験しました。昭和39年、55年、58年の登別の豪雨災害では不眠不休で救助活動に取り組みました。

## 春の褒章

国道36、37号の道路維持管理業務に尽力



●勲七等青色桐葉章

長谷部 但 さん  
はせべ ただし

若山町 (61歳)

昭和32年北海道開発庁入り。平成7年3月退官までの38年間、室蘭開発建設部室蘭道路事務所勤務。土砂崩れや水害、除雪などに時間を問わず出動。国道36、37号の道路維持管理業務に尽力されました。

議員活動29年間 まちの発展に尽力



●藍綬褒章

北林 昭市 さん  
きたばやし しょういち

富士町 (65歳)

昭和42年に登別町議会議員に初当選以来、29年間にわたり議会議員として活躍し続けており、議会副議長をはじめ数々の要職を歴任し、地方自治の進展に尽力するとともに、住民福祉の向上に努められ、まちづくりに貢献されました。

# きらり

## 第43回写真道展 大賞受賞

佐藤 明さん(栄町)



実績は残したいと考えていました。入選すればいいなと思っていましたが、大賞だったので、本当に驚きました」

—受賞した作品について

「昨年、虹田町の牧場で写しました。本当は花を写しに行きたんですが、花は風で倒れていました、ちようとポニーがいて、白い柵と赤い小屋と青空と…、いい構図だと直感しましたね。でも、ポニーがなかなか向こうを向かないので、草をあげたりしながら何回もシャッターを押しました。100枚くらい写したうちの1枚なんですよ」

—いつも、どのような写真を撮っていますか

「どんな写真でも撮ります。動物でも人物でも風景でも、何でも撮りたいんですね。昨年は休日のたびに写真仲間と出掛けて、写していました。仲間とあちこち行くのも楽しいですね。みんなで同じ場所に行っても、同じ写真は撮れないですから、後からお互い見せ

合うのも、また楽しいですね」

—これからの目標は

「最初に大賞を取ってしまったので、大変だなと思っているのですが、今の目標は来年も道展に入選することですね」

—写真に対する思いを、やさしい口調で語る佐藤さん。これからもいい写真を撮り続けてください。

北海道新聞社と北海道写真協会が主催する第43回写真道展の大賞に、栄町の佐藤さんの作品「牧場のポニー」が選ばれました。448人から3千666点の出品があった中、大賞と文部大臣賞に輝いた佐藤さんにお話を聞きました。

—写真はいつから始めましたか

「25年以上前から撮っていますね。そのころから雑誌の写真展などに出品していました。最近は少し休んでいたのですが、昨年から再開して、また本格的に撮り始めました。写真仲間と誘われて写真教室に1年通ったのですが、先生に基礎から教わったのがよかったのでしょね」

—大賞を受賞した感想は

「とてもびっくりしました。初出品で大賞がいただけたのは、ただただ運がよかったのだと思います。昨年から再開したので、何か



▲第43回写真道展で大賞を受賞した「牧場のポニー」

富士町で

美容室を営む赤塚真理子さんは、個人ボランティアの登録をきっかけに、美容師の技術を生かしたボランティア活動をしています。

### いきいきボランティア

技術を生かしたボランティア活動

おしゃれが元気のもと!

「ボランティアセンター」伝言板

ボランティアセンターあつてのことですが…と話してくれました。

これは、病気や体の障害のために、家から出ることが難しいお年寄りや障害者のお宅に定休日の毎週火曜日に訪問し、会話を楽しみながらお好みのヘアスタイルにカットしてあげる活動です。

赤塚さんは「自分のカットで、お年寄りや障害者の方が忘れかけていたおしゃれを楽しみ、どんどん明るく元気になっていく姿を見るのがとてもうれしい。仕事だけでは得られない充実した毎日をすごしています。もちろん、これは家族の協力と、時間を有効に調整してくれるボラ



- ボランティアセンター伝言板
- ボランティアセンターでは、特技や技術を生かした次の活動をしてくれる方を募集しています。ボランティアを受けたい方の相談にも応じています。お気軽にお電話ください。
- 日曜大工ボランティア
- 運転ボランティア
- 車イスガイドボランティア
- 散髪ボランティア
- 読み聞かせボランティア
- 屋台ボランティア
- 代読・代筆ボランティア
- 洋裁ボランティア
- など

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター  
(☎0860)



## 花見に最適



### 桜ざか駐車公園が完成しました

毎年、人々の目を楽しませ、春の訪れを感じさせてきた中登別町の桜のトンネル入り口に「桜ざか駐車公園」が完成しました。

5月11日(土)には、完成記念イベントが行われ、公園の名付け親の千葉沙織さん(登別温泉小6年)や関係者約150名が参加し、登別温泉小学校の鬼っこマーチングバンドの演奏や熊舞い演舞で公園の完成を祝いました。公園は、大型バス2台、乗用車7台(2台は身障者用)が駐車でき、除幕式が行われた観光案内板や花壇などがあります。



## 今晚のおかずはチップ?

### 倶多楽湖チップ釣り解禁

5月18日(土)、倶多楽湖のチップ(ヒメマス)釣りが解禁になりました。解禁を告げる午前6時のサイレンと同時にサオ入れた釣り人は約50人。ボート29隻に分乗した釣り人たちは、かじかむ手をさすりつつ水面下のチップを追い求めています。今年のチップは、体長約18センチとまあまあ大きめで、フライにして食べるとおいしいそうです。チップ釣り期間は8月4日まで。



## めざせ、完走! 第21回こいのぼりマラソン大会

第21回こいのぼりマラソン大会(登別市子ども会育成連絡協議会主催)が、5月5日(日)「子どもの日」、2歳女の子から82歳男性までの「風の子」約300名が参加し、市営陸上競技場を発着点として行われました。くもり空のやや肌寒い日でしたが、こいのぼりを持った子どもたちの入場行進の後、「風の子」たちは3歳・5歳・7歳のコースを勝負にこだわらず自分のペースで走り、心地よい汗をかいていました。



# 東 奔



## 20周年を記念して

### 青葉小学校で桜の苗木を植樹

今年度開校20周年を迎えた青葉小学校で、5月16日(木)全校児童が参加し、記念事業の第一弾として桜の植樹が行われました。

この日は、あいにくのくもり空でしたが、子どもたちはクラスごとに分かれ、エゾヤマザクラの苗木20本をグラウンドや校舎の周りに「来年の春に花が咲きますように」と、1本1本ていねいに植えていました。

## 日曜大工に挑戦！ シラカバを使った花台づくり



5月11日(土)、郷土資料館・文化伝承館で、第2土曜日恒例の体験学習が行われました。

この日は、鉾山町のシラカバを利用した花台づくりで、小学生や親子約40名が、幹の太さが20号ほどの輪切りのシラカバに足を付ける作業に挑戦しました。

のみやのこぎりなどは「家でも学校でも使ったことがないよ」という子どもたちも、ボランティアグループPSLGのおじさんたちに手順を聞き、友だち同士で助け合いながら、それぞれ見事な花台を完成させました。

## 仲間たち

### 古着を生かして流行の服に

## リフォーム(洋裁)

会長 金野

秀子さん  
☎057481



リフォームは、かつて公民館講座で洋服のリフォームを習った方々が集って結成され、25年以上続いているサークルです。現在、会員は15名で、40代~70代の主婦の方々が、月5回程度、市民会館で創作活動をしています。

サークルが出来た当時は、古着を縫い直して、時代に合った洋服を作ることが目的にしていたのですが、今はリフォームに限らず、新しい生地から洋服を作ったり、既製品を自分に合うように縫い直したりと、みなさんがそれぞれ着たい洋服を月に2枚程度作っています。

会員の中には、昔の着物で洋

服を作ったり、お子さんが着た服を縫い直して、お孫さんの服を作っている方もいて、古くなった洋服をそのまま捨てるのではなく、おしゃれに仕上げ直そうと、いつもアイディアを出し合っています。

会長の金野さんは、「できあがったときの喜びがなんとも言えないんです。最初はできなくても、先生が親切に何度でも教えてくれるので、安心して作ることが出来ます。また、会員同士、とても仲がよくて家族みたいですよ。洋裁を初めたいと思っっている方は、気軽に連絡してください」と笑顔で話してくれました。

## 「郵便前夜」(1)

### 幌別郵便取扱所の設置

明治6年(1873年)札幌本道が、北海道開拓の先駆けとして開設したが、ただちにアメリカの西部劇にでるような4頭だての荷馬車が道路を疾走するという勇ましい状況ではなかった。

改めなどで調べる。江戸防備の目的から、北海道を横断する河川に橋を架けず、渡船・徒歩で渡らせる。川渡し人足が、肩車や台座で運ぶ「大井川の渡し」などは有名だが交通不便も甚だしかった。海上輸送も、3代将軍徳川家光の寛永令の規定で、海外渡航の禁止、500石(約75トン)以上の造船を禁止したが、幕末になりロシアやアメリカの大型船・蒸気船をみて驚嘆し禁止令を解いたものの、風まかせの一本柱の帆船は大型船の千石船といっても150トン程度のもの、動力船でないので太平洋岸航路は危険で航海は困難を窮めていた。

幕末に、箱館奉行所から江戸に御用状(書状)を送ったが往復に60日余もかかり、緊急事態に間に合わない。飛脚・駅伝に頼むといっても、通信・運輸の系統が国内的に確立していないので、役所の通信でも、旅行者に書状の持参を頼む「幸便」に頼っている状態なので遅れるのも当然であろう。

北海道の開拓を進めるために居住者の利便をはかり、人や物資流通のための交通・運輸・通信の強化は必然的な要求であった。

く人々や、馬にそのまま荷物を付けて運ぶ駄馬方式が通常であった。北海道開拓に必要な交通運輸の発展に、開拓使長官黒田清隆が明治11年ロシアに渡り、ロシア型の乗馬車・乗ソリ・馬具や馬を購入、またロシア人技術者を雇い入れて北方型の交通整備にのりだし、札幌本道の我が町登別にも乗馬車が走るようになったのは明治14年以降のことで、日本の交通・運輸制度は欧米に比べて非常に遅れていたことがわかる。

仕方がないので、イギリス・アメリカ・ドイツなどから、大型船を借りたり、小型動力船を購入したが、例えばイギリス蒸気船テールズ号を品川から函館・根室や宗谷まで借用した運送契約金が1万2千500両で、1両を約3万円としても3億7千500万円という莫大な金額に政府は目をまわして驚いた。

北海道で、初めて郵便機関が開設したのは、明治5年7月の函館郵便役所で、函館から森、森から船で室蘭・幌別・千歳・札幌・小樽や、函館から福山・江差・熊石方面などに道内22か所の郵便取扱所が開設されるようになる。



▲「郵便現業絵図」(明治18年、通信博物館蔵)に描かれた郵便運送の姿



▲創業期の郵便用行李 前面に「御用」、側面に「郵便」とある

理由は言うまでもなく江戸幕府の鎖国政策や大名の統制にある。大名が大量に迅速に、人や物資を運搬することは軍事的に危険なので、道路幅も狭く、関所を設け、宿駅をつくり、不審な旅人は人別

明治初期、仙台・四国方面から登別に移住したときに利用した汽船の庚午丸・辛未丸はイギリス製、稲川丸は清国製、矯龍丸はアメリカ製で、すべて中古の動力船であるが、北海道の開拓に太平洋岸航路は欠くことができないので政府は高額な値段で購入している。陸上や海上交通の発達が遅れているので通信業務も不備であった。

登別市内では「幌別郵便取扱所」が、現在の幌別町1丁目11番地付近に開設し、駅運取扱人の松谷金弥が郵便取扱役に命じられた。

# あらかると

## 情報

### 高額療養費の 自己負担額改定期間

#### がかわります

広報のほりべつ5月1日号で、高額療養費の自己負担額改定は、平成8年5月1日からの診療分とお知らせしましたが、国の平成8年度予算成立の遅れのため、「平成8年6月1日からの診療分」より改定になります。

▼問い合わせ 保険年金課  
(☎1771)

### 登別市農業委員会 委員選挙を行います

#### 委員長選挙を行います

- ▼現委員長任期満了日 7月19日(金)
- ▼告示日 6月30日(日)
- ▼投票日 7月7日(日)
- ▼選挙による委員定数 10名
- ▼立候補届出説明会  
6月12日(水)10時から市役所第2庁舎会議室
- ▼問い合わせ 選挙管理委員会事務局 (☎9143)

### 6月1日～7日は水道週間

#### 水道サービスのご利用を

市水道部は、水道指定業者者の協力により水道サービスを行います。お気軽にご利用ください。

### サービス内容

- ①水道に関する困りごと相談
- ▼受付期間  
6月11日(火)～6月14日(金)
- ▼相談先 工務課 (☎5510)
- ②水道パッキンの無料取り替え
- ▼受付期間  
6月11日(火)～6月13日(木)
- ▼申し込み 工務課 (☎5510)
- ※6月15日(土)、16日(日)に訪問して取り替えます。

### クリーンチケット取扱所の 指定解除のお知らせ

セイコーマートやすの(富士町6丁目20-4)は、平成8年5月1日からクリーンチケットを取り扱わなくなりましたのでお知らせします。

▼問い合わせ 環境衛生課  
(☎2958)

### 劇団四季 登別公演

#### ファミリーミュージカル「雲ん子」

～登別市文化・スポーツ振興財団設立記念事業～  
舞台上の美しい幻想的な雪景色と、躍動感あふれるダンスで織りなすオリジナルミュージカルが特別で開催されます。

- ▼日時 8月12日(月)18時開場、18時30分開演
- ▼場所 市民会館大ホール
- ▼入場料 指定席4千円、自由席3千円
- ▼チケット取扱所 市民会館(指定席は市民会館のみ取り扱い)、アーニス、市役所母子会売店

### 発売開始日 6月12日(木)

▼問い合わせ 登別市文化・スポーツ振興財団 (☎1116)

### 眼科診療所が開設されます

#### わかかさ眼科クリニック

市民のみなさんから長年にわたる設置を強く要望されてきました「眼科診療所」が開設されます。



- ▼場所 若草町2丁目13-9
- ▼診療開始日 6月15日(土)
- ▼診療日時  
◎月・火・木・金曜日  
(午前の部) 9時～12時30分  
(午後の部) 13時30分～17時30分  
◎水・土曜日  
(午前の部のみ) 9時～12時30分
- ▼問い合わせ わかさ眼科クリニック (☎0555)

### 市長の資産等報告書などの 閲覧ができます

▼対象 市民

### 閲覧できる報告書と閲覧開始日

- ・資産等報告書 6月10日(月)
- ・所得等報告書 7月1日(月)
- ・関連会社等報告書 7月1日(月)
- ▼閲覧日時 平日9時～17時30分
- ▼場所 市役所総務課
- ▼持参するもの 本人の住所が確認できるもの(運転免許証など)
- ▼問い合わせ 総務課 (☎1130)

### 「特設人権・困りごと相談所」 を開きます

札幌法務局室蘭支局 共催  
～室蘭人権擁護委員協議会～  
人権問題、離婚、不動産、金銭のトラブル、児童・生徒のいじめなどでお困りの方の相談を、札幌法務局室蘭支局担当官、登別人権擁護委員が無料でお受けします。相談上の秘密は固く守ります。

- ▼日時 6月20日(木)10時～15時
- ▼場所 登別サテイ(2階サテイホールA)
- ▼問い合わせ 札幌法務局室蘭支局 (☎5111)

### ママさんソフトテニス教室 受講者募集

～登別市文化・スポーツ振興財団～  
毎月 6月25日(火)～7月26日(金)の毎週火・金曜日(計10回)

- ▼時間 10時～12時
- ▼場所 市営テニスコート(市民プール横)
- ▼対象 市内に居住する女性
- ▼受講料 傷害保険料400円(6月16日(日)まで体育館に持参)
- ▼内容 ソフトテニスの基礎技術

### 持参するもの ラケット、運動靴、運動のしやすい服装

▼申し込み 6月16日(日)まで電話で総合体育館(☎5552)

### 初夏の交通安全運動 「スピードダウンとシートベルト」

6月1日～6月10日は、初夏の交通安全運動期間です。交通事故防止に努めましょう。

### 弓道を始めてみませんか 弓道愛好者募集

～室蘭弓道連盟～  
練習場所 室蘭市弓道場  
参加料 入会金2千500円、年会費6千500円  
▼申し込み・問い合わせ 室蘭市弓道場大澤さん、松崎さんまで (☎36363)

### かんぽ作文コンクールの 作品募集

※練習日時は、問い合わせください。  
▼対象 小学5・6年生、中学生  
▼テーマ  
◎簡易保険に関係があるもの  
◎私の宝物(自分にとって大切なもの、人、自然、言葉など)  
◎そのほか、日ごろ思っていること、感動したことなど  
▼原稿枚数 原稿用紙3枚～5枚、点字の応募も受け付けます  
▼募集期間 7月1日(月)まで  
▼申し込み・問い合わせ 登別郵便局貯金保険課(☎0952)

これなあに？



磁石式壁掛電話機 (大正～昭和20年代)

ほくは、電話機。誰たい？  
「おもしろい顔」なんて言っ  
てる人は。  
昔は、みんなほくの顔につ  
とりしながらいろいろな話を  
したもさ。  
ほくを使うときは、顔の右  
についているハンドルを回し  
て交換手さんと呼ぶんだ。す  
ると、ベルになっているほく  
の目が、「リンリン」と鳴るの  
さ。それからほくの口に向かっ  
て交換手さんに「〇〇番につ  
ないてください」と頼むんだ。  
あとは、顔の左についてい  
る聴音機を耳に当てて相手の  
声を聞くんだ。  
(登別市郷土資料館展示品)

人のうごき

- 人口 57,249(-392)
  - 世帯 22,794(-377)
- ( )は前月比

平成8年4月末日現在

となりまち  
ホットライン

室蘭市

プロビデンス号来航200年記念祭

帆船模型展



室蘭港に來航し、世界に噴火湾とエトモを紹介した英  
国探検船プロビデンス号。

今年、來航200年の記念の年で、これにちなんで帆船  
の各種模型とプロビデンス号の研究資料を集めた記念展  
を開催しますので、ぜひご覧ください。

▼日時 6月15日(土)～8月18日(日) (月曜日、  
祝日の翌日を除く)

▼会場 民俗資料館  
▼入館料 高校生以上300円、中学生以下と70歳以上  
無料

▼問い合わせ 民族資料館 ☎4922

伊達市

市民劇団「バラム」の旗揚げ公演  
「11びきのネコ」をご覧ください



昨年公募により発足した市民劇団「バラム」。伊達市  
のみならず、室蘭市、登別市、西胆振各町村からも応募  
があり、団員として活躍しています。劇団「バラム」の  
最初の公演は井上ひさし原作の「11びきのネコ」です。  
音楽は伊達吹奏楽団が演奏します。笑いと感動のミュー  
ジカルをぜひご覧ください。

▼日時 7月7日(日)  
午後1時からと午後5時からの2回公演

▼場所 カルチャーセンター大ホール  
▼入場料 1千円 (小学生以下無料)

▼チケット取扱先 カルチャーセンター、カルグラフィ、tobe、JAM  
ケット各店

▼問い合わせ カルチャーセンター  
(☎0142-5515)

この広報紙は再生紙を使用しています。